

2015. 8. 13

歴史民俗資料館だより No.110

長崎市歴史民俗資料館

〒852-8117 長崎市平野町7番8号

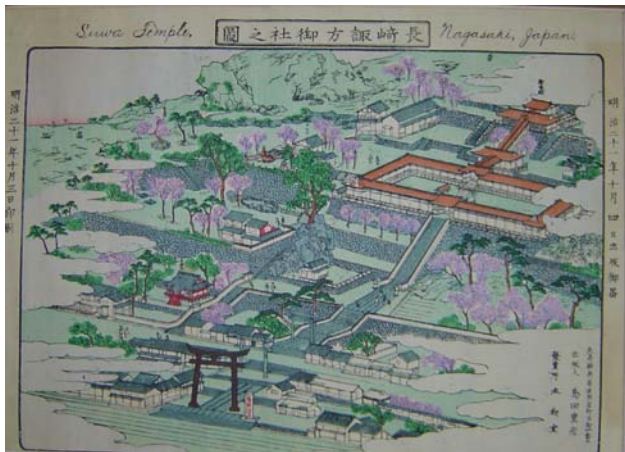
TEL (095) 847-9245 (FAX 兼用)

<http://www.city.nagasaki.lg.jp/kanko/820000/828000/p009251.html>

くunchi資料展

会期 8月27日(木)～10月11日(日)

展示品 くunchi衣装・太鼓・絵画・絵葉書・今年
の踊町の写真など 約 130 点



長崎諏方御社之図

太和堂 明治 21(1888)年 個人蔵

寛永 11 (1634) 年に長崎諏訪神社の秋の大祭「くunchi」が始まり、今年で 381 年となります。

長年の間に、江戸時代の大火災、昭和の戦災や大水害、そして町名変更などをへて、時代と共に 7 年に 1 度出演する踊町の数や組合せ、演し物の多くが変化してきました。しかし、そのような演し物の中でも、明治 19 (1886) 年の初出場から今年で 129 年を数える伝統の演し物・諏訪町の龍踊もあります。

今年の踊町は、新橋町の傘鉾・本踊（阿蘭陀万歳）、諏訪町の傘鉾・龍踊、新大工町の傘鉾・詩舞・曳壇尻、金屋町の傘鉾・本踊、榎津町の傘鉾・川船、西古川町の傘鉾・櫓太鼓・本踊、賑町の傘鉾・大漁万祝恵美須船の 7ヶ町です。

今回の展示に際しまして、貴重な資料を御寄贈、御提供いただきました岩永和之様、川添弘之様、清水梢太郎様、向 俊博様、吉村愛子様、常盤会様を始め関係者各位に深く御礼申し上げます。



諏訪三社尊号

從二位伯爵 ^{ひがしくねみちよ} 東久世通禱書
明治 21 年～31 年頃
(1888～98)

諏訪神社

諏訪神社は長崎の氏神様として尊崇されてきました。

その御祭神は、諏訪大神、森崎大神、住吉(住江)大神で、御紋の梶の葉、三つ巴、三蓋松の三つの社紋を「三社紋」といって祭具は元より各種の装飾模様によく用いられています。

くunchiの語源

重陽の節句、菊の節句の九月九日、この九日のくにちが「くunchi」になったと言われています。

諏訪神社では寛永 3 (1626) 年はじめて神楽を奏し湯立神事が行なわれましたが、大祭の最初は寛永 11 (1634) 年でした。この時の社地は、まだ現在の玉園山に移る前の円山(現、松ノ森神社)で、9月7日、遊女高尾・音羽の兩人が神前に謡曲小舞を奉納。午後、神輿が御旅所に渡御して、8日が大祭で、御旅所で湯立神事が執行され、9日無事神輿は還御されました。(慶安元(1648)年・玉園山遷宮)

なお、江戸時代の太陰暦の9月は、現在の太陽暦の10月に相当します。



羽織型くunchi手拭張り混屏風

昭和 60 (1985) 年頃 吉村愛子氏寄贈



飾船頭衣装

江戸時代後期
個人蔵



江戸町 兵式教練遊軍士官 大正二(一九一三)年
川添弘之氏寄贈



鈴木信太郎筆 オランダ万才絵団扇
昭和 25 (1950) 年

個人蔵



清水崑筆 おくんちかっぱ屏風

昭和 45 (1970) 年頃 清水梢太郎氏寄贈



西古川町 櫓太鼓
昭和 26 (1951) 年 岩永和之氏寄贈



田川憲作 西古川町 呈上・花御礼
昭和 26 (1951) 年 岩永和之氏寄贈